

2月定例教育委員会会議録【概要版】

開催年月日	令和8年2月10日（火）	場 所	市役所本庁 議会第2委員会室
開催時間	13時30分 から 14時55分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、甲斐千尋、廣池加代子（※遠田真央委員欠席）	
	参 与	丸山真二、池田元洋、岩佐正文、佐藤幸恵、岩切隆人、早瀬誠一郎、 吉田尚良、尾方農一、甲斐保孝、田中政秀、高浦 哲、谷口亜虎	

◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13時30分）

◎ 会議録の承認

1月28日（水）に開催された1月定例教育委員会の会議録が承認された。

◎ 事務報告

◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・教職員人事関係ヒアリング
- ・防災教育のこれからについての片田特任教授との協議
- ・初期研修（産学官合同）
- ・市選出県議会議員との意見交換会
- ・マイナビ仙台レディース関係者市長招宴
- ・水泳学習民間施設活用について市長・副市長へレクチャー
- ・ヨネックスバドミントンチーム歓迎セレモニー
- ・フッ化物洗口についての延岡市歯科医師会長との面談
- ・第4回「未来へつながる」延岡市教育環境づくり全体検討会
- ・延岡西日本マラソン大会
- ・水泳学習民間施設活用について市長・民間と協議
- ・延岡市小・中・義務教育学校長会
- ・東京学芸大学との打合せ
- ・旭有機材、株式会社リバネス来庁

◆教育委員より以下の報告が行われた。

宮田委員) 1月25日に社会教育課が行っているはらはらわくわくふるさと体験隊の閉校式があり、その中で子どもたちが1年間の振り返りの発表会をしたので参観させていただいた。たくさん子どもたちが発表したのだが、初めての体験からの感動であったり、驚きであったり、たいへん素直な感想をたくさん聞くことができ、子どもたちにとって、とても貴重な体験活動の機会になっているのだなという印象を持った。例えば、草刈りで鎌を使って切るときに、ざくざくという音がしたとか、しめ縄の藁を縛う(なう)のには力が必要だったとか、実際の活動をしたからこそ分かることで、そういった五感を働かせた活動を通して、子どもたちの感性が磨かれる体験に繋がっていたように思う。また代表の6年生の子どもが最後に発表したのだが、たくさん友達ができたとか、最初は少し不安だったが、いざ活動してみたら楽しかったなど、子どもたちにとっての人間関係づくりにおいても、充実した活動に繋がったことがよく伝わってきた。最後に、吉田課長から参加者の小学生、そして保護者の皆さんに対して、この「はらわく」の体験が、中学校、高校、大学、大人になっていく力になっていくという話もされたのだが、まさしく学校だけではなく、社会教育の中で子どもたちの生きる力を育てていく、良い事業になっていると改めて思ったところである。先日の総合教育会議の議題の1つでも、豊かな心の育成という部分があったが、その中ではらわく体験隊の説明もあったが、子どもたちにとっての自然体験とか、社会体験が豊かな心を育てていく貴重な機会に繋がっているだけではなく、自分たちの住んでいる延岡市郷土愛にも繋がっているなど思うので、次年度に向けて、さらなる充実に向けた事業にしていきたいと思っているところである。

廣池委員) 2月2日に行われた劇団四季の公演に行ってきた。小学校5年生が招待されており、私もずっと見させていただいたのだが、やはりあぁいった本物の舞台装置、本当に大掛かりな美術、背景、それと歌が上手な俳優さん、声と演出、歌を耳で聞く。そして、パラエティーに富んだ綺麗な衣装。そして何より耳から入る綺麗な言葉。まさにすべて、多方面から本物を見られる機会ってなかなかないと思う。あぁいった舞台を見るのも、多額なお金を払っていかなければならない。でも、延岡市の子どもたちみんなが見られるっていうのがとってもいいなと思った。多感な小学校5年生、まだちょっとアイデンティティが確立する手前の段階、そういったお子さんに対して、あぁいった本物の芸術的なものを見ていただくというのは、すごくまたその子どもたちの将来何になりたいかっていうような、そういった思いの中に、何か1つヒントになったり、気づきになったりっていうことになるのかなというふうに思ったところで

ある。

甲斐委員) 2月4日に旭中学校の職場訪問があった。10時半から1時間ちょっと、2年生の28名がうちの会社に来た。中学生の体験学習で毎年職場訪問があり、その都度自分が中学生の皆さんを案内する。社会に出て働くことが何かということを経験して帰るのだが、なかなか中学校2年生というのは、まだ現実的には社会に出て何かというのとは分からない。そういう人たちに職場の心得とか心構え、会社側からは人事的な話とか、そういうのをちょっと勉強してもらった。どこまで伝わったかなど、来られた後はこれでよかったのかなっていつも思う。2月6日は久世さんの送別会で、久世さんに関わった教育委員会の教育委員、教育長も来られて10名での送別会だった。感動したが、世界の久世さんなので、久世さんが書かれた本の中に座右の銘があった。ちょっと紹介すると、「夢を夢で終わらせない。そして、夢なき者、理想なし。理想なき者、目標なし。目標なき者、実行なし。実行なき者、成果なし。成果なき者、喜びなし。」そんな座右の銘が書いてあった。なかなか久世さんらしい座右の銘だなと感動した。2月8日は宝くじふるさと劇場というものがあつた。

◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、1月30日(金)第3回延岡市初期研修会及び産官学合同研修会、2月2日(月)の劇団四季公演や1月期の生徒指導に関する状況等について報告があつた。

◎ 議 事

◆議案第33号 令和8年度延岡市一般会計予算(教育委員会分)

- 各課館長より、令和8年度の当初予算について説明がなされ、下記の質疑の後、異議なく承認された。

◎) 学校教育課の学力向上指導員の配置事業について、今年度、当初予定していた指導員の人数がなかなか集まらないってというような話を伺っていたが、最終的にその指導員の数は充足されたのか。

⇒) 学力向上指導員については、本年度20名を準備していた。20校に配置したいとしていた。残念ながら17校までであったが、ただ、3月に1人、中学校に来ていただけの方があるので、その方を入れると18名となる。

◎) 今年度多分20名だったと思ったのだが、その関係で15名に減らしているというわけではないのか。

- ⇒) 確かに本年度は 20 名である。今回の予算の背景には、学校の講師を任用するということがある。そこが埋まらないという現実もあり、こちらの事業で多くを雇用してしまうと、本来学校に入っていたきたい講師が入れなくなる。そうすると、学校が、今度は運営、授業、教科担当などの構成上、逆に課題が出てしまうのではないかとということも含めてこのような人数になっている。
- ◎) 社会教育課の地域学校協働活動事業で、小学校 5 校で放課後子ども教室を実施されているということで、私は良い事業だと思う。現在の実施状況について伺いたい。
- ⇒) 今年度は北方を含めて 6 校で実施している。港小学校、黒岩小学校、名水小学校、上南方小学校、熊野江小学校、北方学園小学校となる。全校児童数が港小だと 10 人で登録児童が 10 人、黒岩が 16 人で登録児童は 10 人、名水は 7 人で登録児童は 7 人、上南方がちょっと多くて 66 人の全校児童のうち登録は 40 人で、熊野江は残念ながら今年度で廃校となる予定であるが 1 人という状況である。北方学園は全校生徒 86 人なのだが登録児童が 37 人となっている。大体 4 月から始まり、月曜から金曜日の 5 日間、北方学園だけは月、火、木、金の 4 日間、放課後の 4 時半までを過ごすというようなことになっている。サポーターは 7 名から多いところでは 10 名の方にご協力いただいております、1 日に 2 ないし 3 名の方が子どもたちに関わってくれているという状況である。宿題をして帰るとか、そういうことだけではなく、一緒に運動したり、遊んだり、それから文化活動、そういったものも一緒にする、そういった活動をしているというような状況である。来年度であるが熊野江小学校は今年度までなのだが、浦城小学校のほうで放課後子ども教室を始めたいという話があり、学校数は 6 校で変わらないのだが、浦城小学校のほうで新たに始まるというような予定になっている。
- ◎) 開催学校がやはり小規模の学校というところで、児童クラブが行われていないところであり、共働き世帯の家庭にはすごく喜ばしく、大変重要だなというふうに思った。
- ◎) 私の方からちょっと補足をさせていただく。詳しく見ると若干それぞれの事業で、予算を少し減らしているというのはいくつか見られると思うが、ご案内のように、市全体でシーリングという、これだけ減らしましょうっていう割合的なものも示されているので、教育委員会事務局としては、知恵を出し合って、必要なものは残す。削れるものは削ったりという工夫をそれぞれの事業で行ったし、人数を減らすのかそれぞれの人の時間を減らすのかというところの議論をしたりしながら、学校教育に関わる部分では、子どもたちの指導にできるだけ影響が少ないように

工夫をして予算を計上している。そんな中、学校教育に関わる事業自体を廃止したものもいくつかあるので、ちょっと説明させていただく。4つ廃止しているのだが、中学校を中心に、慶應大学SFC研究所というところと連携して取り組んでいた「論理コミュニケーション」という事業があったのだが、こちらについては連携協定期間が今年度末で切れるということ、それから子ども未来創造機構の方でもこの事業は継続していくということ、また学校によって、ちょっと成績の幅がある部分では難しいという課題もあった。オンラインで慶應大学の先生が表現力を伸ばしていくという事業だったのだが、ヒットする生徒にはすごくいい事業だったのだが、ちょっとついていけないという子どもについては課題もあったので整理をしたところである。2つ目は、東京の弁護士を1人年間数回派遣して、学校に法教育をしてもらったりだとか、校長先生の相談に乗っていただいたりだとか、職員研修、集合研修をこの3年間やってきて、ある程度の成果を見たので、本年度末で廃止する。校長先生たちが困ったときに相談するスクールロイヤー制度はそのまま残していく。そちらの方でカバーしていきたいと思うし、大きな問題は、市のほうも弁護士に相談することになっている。3つ目が読書活動推進員。少なかったのだが数名を各学校に派遣していた。こちらの方も、今後のそれぞれの学校の読書ボランティアの方々と図書司書担当の先生たちと連携しながら充実させていきたいということで廃止する。4つ目が「フッ化物洗口」をずっとやってきたが、全員が実施しない、希望する保護者のお子さんしかしないということとか、また非常に準備や後片付け等に負担が大きいという課題もあった。それから、昨今法律が改正されて、歯磨き粉のフッ化物の量が増え、最高で1500ppmのフッ化物の配合が可能になったし、そういったところもあわせて考えた。あとは、働き方改革のこともあったり、また、いろんなデータを見ると、県内市町村でも、フッ化物洗口をやっているところのう歯率が低いわけではないというデータもある。そういったところで、今回、新たなステージというか、虫歯を減らすっていうのは目的としてやっていくのだが、学校で処置的にフッ化物洗口をするのではなくて、子どもたちに自分の歯を守る、自分の健康な歯を守る力、実践力をつけていくというふうに移行していこうというところで、学校一斉に行うフッ化物洗口は廃止ということで経費を削っている。ただし、歯科医師会だとか保健所においては、いいですよっていう了解はなかなか得られない。これは想定はしていたが、校長会や学校の先生方からも、これは家庭で一生懸命頑張るべきではないかというところもあったし、そういうところを総合的に考えて廃止ということ。毎週朝大体やるのだが、その時間を、子どもたちの

メンタルケアの時間に充てたりとか、読書活動の時間に充てたりとか、基礎学力向上に充てたりっていうところも可能になってくるので、総合的に考えて廃止という判断をした。教育委員の皆様方にも、いろんな団体からは何故なんだと、教育委員会はそれでいいのかっていうような声ももしかしたら入ってくるかもしれないと思っているところであるが、昨日の校長会では、結果で示そうという話をして、子どもたちの力、そういう自分の歯を守る力をつけて、保護者と連携しながら虫歯を減らすというような方向にシフトしていくという判断をしたところなので、ご理解いただきたい。

◆議案第 34 号 延岡市都市公園条例の一部を改正する条例の制定

(アスリートタウン推進課)

- アスリートタウン推進課長より、西階公園野球場の使用料の改定等を行うための条例改正について説明が行われ、質疑の後、異議なく承認された。

◎) 使用料プラス照明とかスコアボードとか、そういった分もかかってくるのか。

⇒) 場内放送設備やスコアボード、また照明等の料金を設定している。照明施設について、今後はLEDになるので、1時間当たりの使用料もこれまでより半分以下の使用料となる。

◆議案第 35 号 延岡市教育委員会事務組織規則の一部を改正する規則の制定

◆議案第 36 号 延岡市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定

◆議案第 37 号 延岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定

(教育政策課)

- 教育政策課長より、三北分室を廃止し、教育政策課の所属として、新たに北方・北浦・北川教育支所を設置するための規則の改正と、このことにより改正が必要となる規程の改正について説明が行われ、異議なく承認された。

◎ 協議事項

◆「延岡城 3D 復元プロジェクトに関する連携協定」の成果について

(文化財・市史編さん課)

- 文化財・市史編さん課長より、下記のとおり説明を行ったのち、協議を行った。
○このプロジェクトについては、令和5年8月23日に、三桜電設株式会社、延岡市、延岡市教育委員会の三者が、それぞれが持つ資源や特徴を生かしながら連携協力し、延岡城跡や関連資料の3次元測量を実施し、その測量データを

もとに多角的な検討協議を行い、3次元復元画像やモデリング画像が事業等に利活用可能な「延岡城跡復元3D-2025」を作成することを目的として連携協定を締結したものである。

○令和7年6月5日に成果品の贈呈式が行われ、その成果品である約17分間のCG動画については、後程皆さんにも見ていただくが、現在、延岡駅西口街区ビルの外部大型ビジョンや、街区ビル内のワイワイプレイラボの大型スクリーン、道の駅の3ヶ所、市のホームページ等に掲載して、延岡城の魅力発信や、ふるさと教育のツールとして活用を図っている。西口街区ビルの大型ビジョンでは、17分の動画を約1分間にまとめた3パターンのもを流している。また、西口街区ビル内のワイワイプレイラボの大型スクリーンでは17分間のフルバージョンを毎日1回上映しており、また、市内小中学校の施設見学等の際に放映を行っている。道の駅3ヶ所に設置されているデジタルサイネージでは、先ほどの1分間の3パターンの動画を順次放映しているところである。

○今後この成果品についての活用なのだが、令和8年度にはこの成果品をさらに活用するために、ワイワイプレイラボの中でのワークショップでも活用する。これはCG画像を3面のスクリーンに編集した動画を流し、まるでその中に入ったかのような、没入できるような体験を考えている。またワイワイプレイラボ等で体感できるゲームを作ることによって、より子どもたちに延岡城の魅力などに気づいていただく活用を図っていきたいと考えているところである。

<※動画を抜粋で視聴>

○この動画等を活用して、今後は学校の授業等でも活用していただいたり、またそのゲーム等で市民の方が多く手に触れるところにおいて、延岡城の魅力を知ってもらうことに活用していきたいと考えている。これは延岡の企業がすべて作ったものであり、今後作るゲームも延岡の企業で考えていきたいと思っているので、そういった意味で、ふるさと延岡の技術等にも子どもたちに誇りを持っていただくということも兼ねて今後の成果品の活用を考えていきたいと思っている。

◎) すごくすばらしいなと思った。私は延岡市の健康マイレージで、城山のリアルウォークのところで、西の丸を通りましたっていう感じで、今ちょっと出してみても重ねて見たのだが、すごく実体的に延岡城が見えて、これはウォーキングにもいいなとすごく思った。みんなに周知したいなって思う映像であった。

◎) 私もたいへんすばらしいなと思う。ぜひこういったものを子どもたちに見せてあげることによって、自分たちのふるさとってこのを見つめ直す良い機会になるのかなあと思っている。素晴

らしい出来栄えだと思う。

- ◎) 社会科の歴史の中でもお城が出てくるので、その頃に延岡にもお城があったんだよってということで、教室で見せてもらうということも議会でも答弁したところである。ホームページでも短いものは見られる。長いものが見たい場合は、ワイワイプレイラボで、ちょうどお昼くらいに放映されるとのことである。

◎ その他

◆ 3月定例教育委員会の日程について（教育政策課）

- 3月定例教育委員会については、3月23日（月）の14時30分から、災害対策本部室で開催する。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（14時55分）